

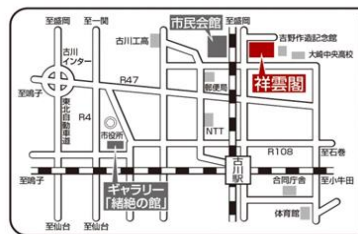
# カレンダー

※月曜休館    は休館日（変更する場合があります）

2月							3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28							28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	



祥雲閣の立礼茶室では、テーブルと椅子があり、正座が難しい方や外国の方にも、四季折々の庭園を眺めながら、気軽に抹茶と季節のお菓子を楽しむことができます。  
※5名様以上の場合は、ご予約をお願いします。



- ◆所在地 大崎市古川福沼一丁目2番2号
- ◆電話 0229-24-3385
- ◆交通 JR古川駅から徒歩約20分  
車 東北自動車道古川ICより約10分
- ◆駐車場 有
- ◆休館日 月曜日（月曜が祝日の場合は翌日年末年始）  
※上記カレンダーをご確認下さい。
- ◆入館料 無料（呈茶の場合は500円）



# 祥雲閣

たより Vol.21

～ご来館者の皆様へ

お知らせとお願い～



祥雲閣では、新型コロナウイルス感染症につきまして感染予防、拡散防止に細心の注意を払いながら開館しておりますが、ご来館いただく皆様におかれましても、感染症予防及び拡散防止のため、以下の点についてご理解・ご協力をお願い致します。

- ◆発熱、咳等の風邪症状があるお客様におかれましては、回復されてからのご来館をお願い致します。
- ◆来館者の体温測定を実施し、高熱や体調の悪い方の入場をお断りする場合があります。
- ◆感染者が確認された場合のために、連絡先の記入をお願い致します。
- ◆アルコール消毒やこまめな手洗いのご協力をお願い致します。
- ◆マスクの着用とティッシュ、ハンカチ、上着の内側や袖などで口と鼻を覆う「咳エチケット」にご協力をお願い致します。
- ◆職員は常時マスク、手袋を着用して対応をさせていただきます。

※今後の国内及び県内の発生状況に応じて、随時変更となることがあります。

大崎市祥雲閣  
令和3年1月21日発行  
〒989-6105  
宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号  
TEL・FAX 0229-24-3385

## 季節の行事

せつぶん

# 節分

節分は文字の通り「季節を分ける」という意味があり、一年に4回ある季節の始まりの日（立春・立夏・立秋・立冬）の前日を指します。

江戸時代ごろから、立春の前日の節分に豆まきなどの邪気を祓う行事が行われるようになり、日本の伝統行事として定着したそうです。

豆まきの起源は、中国から伝わった一年の最後の日である大晦日の夜に鬼を退治し、新しい年を迎えるという儀式がもとになっていると言われています。鬼は自然災害や病気などの形の見えない邪気や厄の象徴とされ、炒った豆を鬼の目に投げて鬼を滅した（鬼を倒した）ことから豆の字を「魔目」や「魔滅」とも表したそうです。※諸説あります。



今年は世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るっていますが、「鬼は外！福は内！」と元気に豆をまいて、鬼（疫病）を祓い、幸福と暖かい春を呼び込んではいかががでしょうか。

ちなみに今年の節分は、例年よりも1日早い2月2日（火）になるそうです。

## 祥雲閣 の施設

祥雲閣は、和室、研修室などの施設があり、茶道をはじめ、箏・謡・舞踊などの発表会やお稽古にご利用いただけます。

現在、施設を利用される場合は新型コロナウイルス感染拡大防止のご協力をお願いしています。

### ・ 研修室



板敷きの施設で、茶道や日本舞踊、仕舞・謡、狂言、能、平家琵琶などの伝統文化の普及と伝承活動の場として幅広くご利用いただけます。



茶道連盟茶会



平家琵琶演奏会



また、姉妹都市である東京都台東区との交流事業「祥雲閣寄席」の会場でもあり、気軽に江戸前の古典芸能に触れる機会を提供しています。

高座と客席が近く寄席の雰囲気を感じ、近で味わうことができることから、楽しみにされている来場者の方も多く、毎年好評いただいておりますが、今年は新型コロナウイルス感染防止の為に中止と致しました。